

NAPAS だより VOL. 14

ナチュラルパートナーズとご縁があった皆様に

弊社の最新の活動からスタッフの素顔まで様々な内容をお届けするお便りです。

● 中秋の名月

おつきみどろぼうさん お待ちしております



連日のように厳しい暑さが続いていましたが、8月も過ぎ、少しずつ秋の気配を感じる風が吹き始めました。今年の夏はあまりの暑さに、お子さまのプールが中止になることもあったと耳にしています。皆さまはどのような夏を過ごされたでしょうか。

現場でもしっかりと熱中症対策を行いながら、順調に施工を進めております。

さて、今年の中秋の名月は9月25日（金）です。

昨年に引き続き、今年も弊社事務所に

「おつきみどろぼう」に参加することになりました。

「おつきみどろぼう」は、十五夜の日地域の子供たちが近所のお家を巡り、用意されたお菓子をもらっていく地域ならではの風習です。

「月のお使い」である子どもたちにお菓子を持ってもらうことで、その土地の豊かな実りを祝うという意味合いが込められています。昨年は夕方4時半頃から事務所前にお菓子を準備したところ、賑やかな声とともに多くのお子さまが訪れてくださり、あっという間に配り終えることとなりました。

今年も事務所前にお菓子をご用意する予定です。数に限りはございますが、お散歩や学校帰りなど、お近くをお通りの際はぜひお気軽にお立ち寄りください。



昨年のおつきみどろぼうの様子

● 現場レポート

手刻み・土壁の家 大工から左官へ



先日「土壁塗り体験」を開催した新築現場では、大工工事がひと区切りを迎え、左官工事へと引き継がれました。

現在は、土壁の「中塗り」と「仕上げ塗り」の工程が進んでいます。乾いて程よいひび割れが入った荒壁の上に、滑らかな中塗り土を

重ねて塗っていきます。中塗りは、壁の凹凸を整えて平滑にし、厚みと強度をしっかりと持たせる役割を担っています。職人の手によって土が綺麗に伸ばされ、すつと面が整っていく様子は、見ていて引き込まれるものがあります。



また、室内でひときわ存在感を放っているのが、大工の手刻みによってつくられた階段です。

斜めに架けた「ささら桁（げた）」に穴をあけ、段板の先端を差し込んで外側から「くさび」を打ち込んで固定する、伝統的な木組の構造です。

機械加工の既製品とは異なり、職人が木の状態を見極めながらノミで削り出し、1段ずつ手作業で組み立てていきます。

横から見たときにちょこんと顔を出すくさびは、しっかりと部材同士を引き寄せる役割を果たしながら、手仕事なら

では空間のアクセントにもなっています。大工から左官へと職人の技がつながり、土壁が乾くにつれて空間の表情がしっとりと整っていく過程は、現場ならではの見ごたえがあります。完成に向けて、引き続き一つひとつの工程を丁寧に重ねてまいります。



住まいの火災保険、見直してみませんか？

連日のように地震や火災のニュースが続き、住まいの防災について改めて考えさせられますね。「我が家の備えは大丈夫かな？」と点検された方も多いのではないでしょうか。家具の固定や備蓄品のチェックも大切ですが、実はもうひとつ見落とせないのが保険の補償内容です。「火災保険に入っているから安心」と思われがちですが、通常の火災保険だけでは、地震が引き金となって起きた火災をカバーしきれないケースがあります。弊社はあいおいニッセイ同和損保の代理店として、「地震火災費用特約」のご提案や、現在ご加入中の保険の確認・お見直しを承っています。

自動セット 特約

火災保険金額 × 5%（300万円が限度）

オプション 特約

火災保険金額 × 30%または50%
（支払限度額なし）

新規のご加入はもちろん、既存契約への補償追加や内容確認だけでもお気軽にご相談ください。大切な住まいを守る再確認の機会として、ぜひお声がけいただければ幸いです。

●完成間近

さまざまな素材が調和する家

現在施工中の新築現場も、いよいよ完成が近づいてきました。

このお住まいでは、空間を構成するさまざまな素材にこだわっています。

中心となるアイランドキッチンには、天板に左官塗材の「モールテックス」を採用しました。すぐれた防水性と耐久性を備え、鉱物的な質感がシックな表情をつくります。

キッチンの背面壁には、風合い豊かな輸入古レンガを貼り込みました。能登産珪藻土タイルの端正な表情とはまた異なり、ヴィンテージ感あふれる空間のアクセントになっています。

造作家具にはオークの天板と真鍮の取っ手を組み合わせ、木と金属、そしてレンガという異なる素材の経年変化を楽しめる心地よいキッチンとなりました。さらに天井にはスギ、床にはナラ、扉枠にはヒノキと、それぞれの場所に異なる樹種の木材を取り入れています。今年の夏は厳しい暑さが続きましたが、現場ではエアコンがない状態でも、じっとりと熱がこもるというよりは、心地よい空気が保たれていました。屋根に設けた遮熱シートに加え、隙間なく充填した吹込み断熱の効果も、施工スタッフも肌で実感しています。

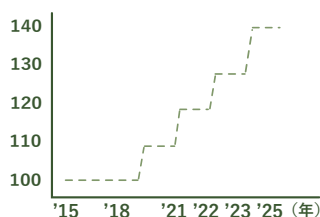


近年の家づくりでは気密性や断熱性の数値が重視されがちですが、遮熱・断熱をしっかり施したうえで素材が呼吸し、風が心地よく抜けていく空気感は、数値だけでは測りきれない木の住まいならではの魅力だと感じます。

建物内の工事はひと通り落ち着き、これからは植栽をはじめとする外構工事を進めていく予定です。自然素材でつくられた建物と、庭の緑が少しずつ馴染んでいく様子を、私たちも楽しみに見守りたいと思います。

●止まらない建材価格の高騰

今知っておきたい、住宅建築コストのリアルな現状



住宅の建築コストは過去10年で大きく変化しました。食品や光熱費などの物価高騰が連日ニュースを賑わせていますが、建築資材の分野でも各メーカーによる価格改定が相次いでいます。

外部調達コストの上昇に対し、メーカー側も合理化や経費削減を推進してきたものの、企業の限界を超える状況が続いています。

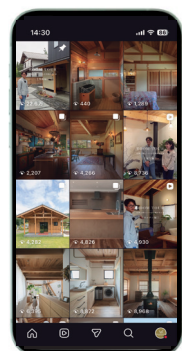
住宅建築において削減が難しい基本建材の多くが8～15%、商品によっては昨年と比べて20%もメーカー出荷価格が引き上げられているのが現状です。一つひとつの資材の値上げ額は小さく見えても、一棟分に換算すると大きな金額となります。そのため、これまで通りの内容でプランを進めても、当初想定していた予算内に収めることが極めて難しい状況が増えてきました。

●メーカー価格改定の一覧（一部抜粋）

対象品目	値上げ幅（メーカー改定率）
構造材・木質系資材	8～15% UP
断熱材・外壁材	10～20% UP
住宅設備（水まわり機器等）	8～12% UP
サッシ・ガラス・内装建具	10～15% UP

さらにこの影響は新築だけでなく、リフォームにも使用する水まわり設備（ユニットバス、洗面台、トイレなど）にも及んでいます。特に今年の10月からは主要メーカーの値上げが集中する見込みです。

来年以降の価格動向については、我々でも見通しがつきにくい状況が続いています。ただ、限られた条件ではあるものの、早めにお見積もりをご依頼いただくことで、値上げ前の「現行価格」で商品を確認できるケースもわずかにございます。ご自宅や身の回りで気になる箇所がございましたら、お早めにご相談・お見積もりをおすすめいたします。



Instagram
積極更新中！

napas_naturalpartners



QRコードを読み込むと
投稿が見られます

編集後記

今年は早い時期から実をつけてくれたゴーヤ。夏の猛暑の影響もあってか、一時期は少し勢いが落ち、「そろそろ終わりかな？」と思っていましたが、最近になってまた次々と実をつけ始めています。育てているのは定番の緑色のゴーヤだけでなく、スーパーではあまり見かけない「白ゴーヤ」など様々です。もうしばらくの間、秋の深まりとともにゴーヤの成長を見守っていきたいと思います。 池田

編集・発行

Natural Partners

〒470-0121 愛知県日進市本郷町前川 1243-5
TEL: 0561-74-0710 FAX: 0561-74-0769

